

## 初島沖でキンメダイの標識放流

令和元年12月10日に初島沖でキンメダイの標識放流が行われました。標識放流を行ったのは、伊東・熱海地区の一本釣り漁業者組織の伊豆東部一本釣り協議会で、いとう漁協管内の網代、宇佐美、伊東、川奈、富戸地区から5隻が出航しました。初島沖では昭和30～40、60年代に標識放流が実施されていますが、その後は行われていません。現在、キンメダイ資源状況が厳しい中でさらなる資源管理が求められています。今回の標識放流は、漁場で保護したキンメダイがどのように成長してどこに移動するのかを確かめて、資源管理効果を確認するために実施されました。この日は今年度2回目の放流で、53尾のキンメダイの背中にスパゲティ型の標識を装着して放流しました。伊豆東部一本釣り協議会では、今後も引き続き標識放流を実施していく予定です。標識のついたキンメダイを再捕した時には、漁協や伊豆分場にご連絡をお願いします。



集団で操業



漁業者が乗り込んで操業



標識を装着したキンメダイ

(高木康次)